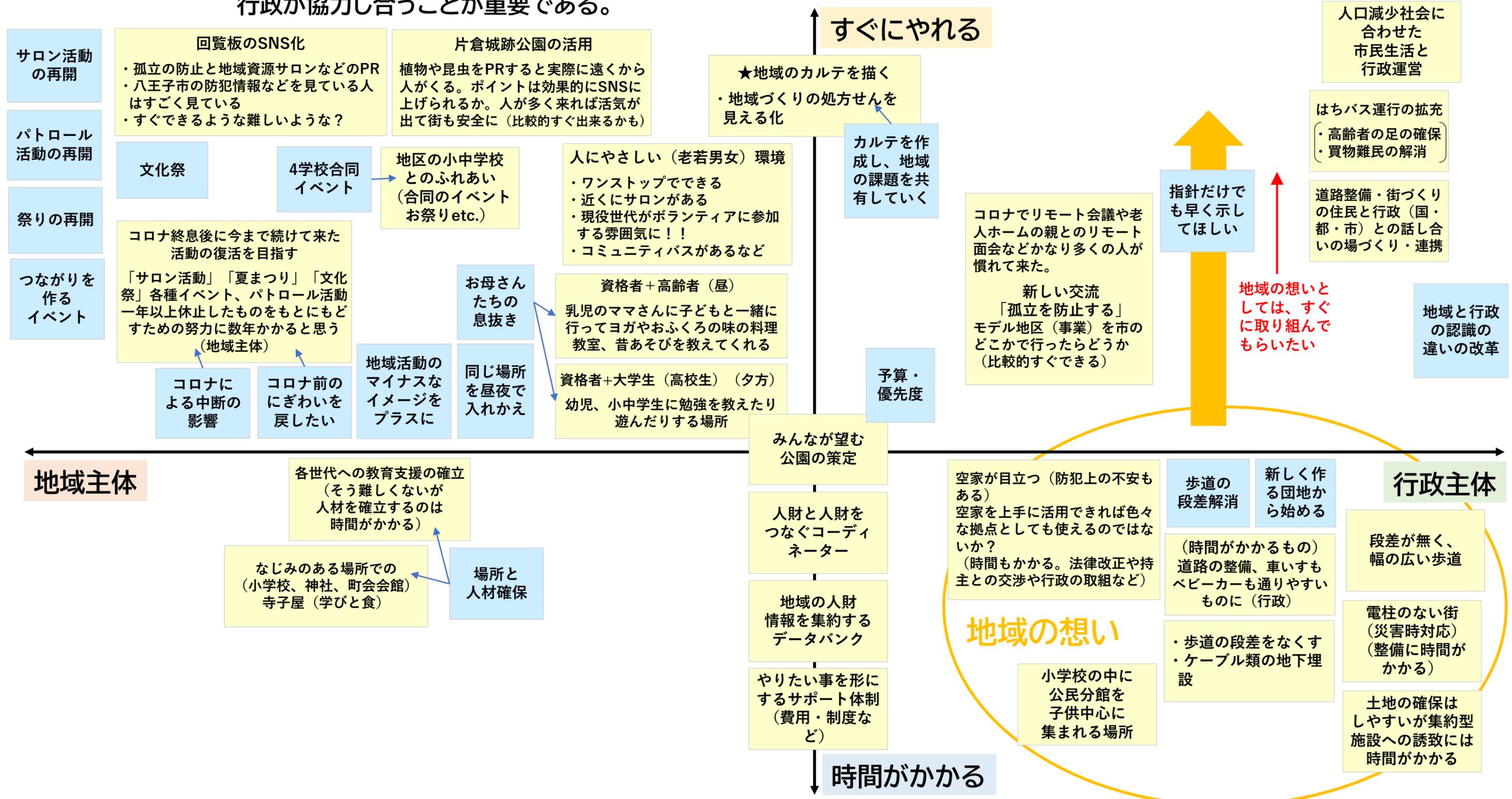


ありたい姿

懐かしさと新しさが混じりあう 誰でも居心地よく楽しく交流できる 住みよいまち

想い

高齢者や子ども、新しい住民や古くからの住民など、幅広い世代や立場の人を繋ぎ、誰でも安心して暮らせるまちを目指す。そのためには、資源や人材をコーディネートする仕組みづくり、環境面の場づくりが求められており、地域と行政が協力し合うことが重要である。



インフラの整備・交通アクセスの充実

- 地区を越えた移動手段の充実
- 幹線道路の整備 (国道16号と北野街道)
- 早期の整備計画の策定と事業着手
- 足がなく行きたくても行けない
- 【散歩が楽しくなる街】 各種ケーブル類を地下に埋設
- 巡回バス運行で楽しむ場所が自分で選んで行ける
- インフラ整備
- 【散歩が楽しくなる街】 段差がない歩道

若者が働き子を育てられる

- 【希望のもてる街】
- 若者が家庭をもって子どもを育てられる街
- 若者が正規雇用で働ける街

産業の振興

- 新しい産業の創設
- 技術革新
- 集約型施設の土地確保
- ショッピングモールへの出店および企業誘致

安心して住める街

- 【安心して住める街】
- 知り合いが多い
- 世代間で交流するイベントが日常的に行われている (機会がある)
- あいさつが自然に当たり前に行える
- 雰囲気がある
- まずは近所であいさつ声かけ
- 【安心して住める街】
- 困りごとを気軽に相談出来るところがある
- 【その他】
- 森や林を乱開発から守る (条例を作る)
- 遊休農地や空地の有効利用促進

顔の見える関係づくり

- あいさつをしたくても顔がわからずできない
- 顔が見れる関係性の構築
- 荒地の整備による安心・安全なまちづくり

地域での子育て

- 地域のキーマン
- 子育て世代の母親
- 子育て世代の父親を地域で活躍してもらう
- 【互助の関係】
- 子供の見守り
- お年寄の見守り
- 保育園、小学校学童保育の協同化 (同じ敷地内に)

多世代の交流

- 小学生と地域の元気な高齢者のふれあう場をふやす (コロナ後)
- 【助けあいボランティア】
- 若い世代が活躍できる地域
- ボランティアが自然にできる環境

世代をつなぐ場

- 世代間をつなぐ共通の課題
- ★子供の成長
- ★保護者のサポート
- 【安心して住める街】
- 一寸あつまっておしゃべり出来る場所がある (井戸端会議)
- 世代間につなぐ場所
- 小学校、町会会館
- お寺、神社、由井事務所
- 他にも声かけする

地域間の交流・連携の活性化

- 世代間をつなぐ共通のテーマ
- 「食」= 食堂
- 「学」= 寺子屋
- 町会・自治会の役員の若がりをはかり支えあえるようにする
- (リタイア組は平日の活動現役組は土日に活躍できるように知恵を出しあう)
- 今ある子ども食堂などPRをし知ってもらい気軽に誰でも行けるように

集いの場

- (コロナで活動が縮小している)
- 気軽に行けるサロンの充実 (予算の充実も必要)
- 相談できる場 (情報の集約)
- 地域間のつながりができる環境
- ワンストップができる地域
- 支え合いのセンターを一ヶ所決める (市民センターが有るので機能の充実)

緑(自然)

- 【散歩が楽しくなる街】
- 花いっぱい道
- ところどころにベンチがある (道路アドプトの促進)

観光

- 観光地の整備
- トイレ・ベンチの設置

医療・福祉の充実

- 医療・福祉の支援充実
- ※様々な世代が住みよくなるための工夫

生涯教育

- 【誰もが楽しめる公園】
- 子供から年寄りまでみんなが望む公園をみんなで考え市と協働してつくる
- みんなの意見・アイデアが入っている

生涯教育

- 土地の長老に地元の話をきく会をもうける (大げさではない小さい気軽な会)
- 各世代への教育支援の充実
- 新興住民にも八王子の歴史・習慣を知ってほしい

生涯教育

- 由井地区のなかの歴史ある地域と新興住宅地の交流を増やす
- 由井地区内の小・中学校の交流を復活させる (昭和の時代にはPTAの交流がさかんでそのおかげで私は八王子を知ることができた)

新しい住宅地と古い住宅地の交流

- 30年前に交流したことで今もつながりがある!

※より多くの人が集まれるようにするための工夫